

あやがわ



# 議会だより



議員16名 議場にて（6月25日）

就任のごあいさつ .....	2p
委員会構成 .....	3p
定例会のあらまし .....	4p
委員会報告 .....	4～6p
一般質問に9人が登壇 .....	7～11p
傍聴記 .....	12p



発行 綾川町議会 〒761-2392 香川県綾歌郡綾川町滝宮299番地  
TEL 087-876-0733 FAX 087-876-3660

議会だよりは綾川町ホームページから見ることができます

…臨時会…

# 議長に造田節夫氏 副議長に鈴木義明氏



臨時会（5月10日）

22年第3回臨時会を5月10日に開会した。

議長、副議長の選出と、各常任委員会の構成を決めたほか、監査委員の選任に同意した。また、教育委員の任命にも同意した。

議案関係では、議案4件、報告1件を、原案どおり可決した。

主な内容は、平成22年度税制改正大綱により、子ども手当支給に伴う扶養控除の見直し、また国民の健康の観点を明確にした、たばこ税の税率が引き上げられたため、税条例の改正をした。

地方税法の改正により、国民健康保険税の医療分の課税限度額を47万円から50万円に、後期高齢者支援金の課税限度額を12万円から13万円に引き上げた。

## 就任のごあいさつ



議長 造田節夫

盛夏の候。町民の皆様には、ご健勝のことお慶び申し上げます。

さて、先の臨時会で議員各位のご推挙により議長に就任しました。責任の重さに身の引き締る思いと同時に、日々努力を重ね職務に全力を尽くす決意です。

綾川町は、他よりも優れた財政の強いまち、医療、福祉施設の整った安心のまち、イオンなどの商業圏を囲む賑わいのまち、新しく生まれる農業試験場を拠点にした農業の盛んなまち、念仏踊り、主基斎田など文化の香るまち、などなど、次世代へ希望と夢を育む町へと一歩、一歩着実に歩んでいます。

他方では、人口の減少と高齢者世帯の増加、地域のコミュニティーの活性化、美しい自然環境への負荷など社会構造に対応した施策も迫られています。

議員が力を合わせ、町の将来を見定め、町是でもある「笑顔あふれる定住のまち」建設に邁進する決意です。

町民皆さまのご指導をお願いし、ご挨拶とします。



副議長 鈴木義明

このたび議員各位のご推挙により副議長に就任させていただきました。私にとりまして身に余る光栄であると共に、責任の重さを痛感している次第であります。新生「綾川町」として踏み出して5年目を迎えました。そして、最近では、各分野に於いて旧両町の一体化が感じられるようになったと思われれます。これは私たち町民にとって大変誇りとするところであります。

わが綾川町においては、小・中学校、幼稚園、保育所の統合、生涯学習センターの建設等重要な課題が山積しております。綾川町の目標とする「いきいきと、笑顔あふれる定住の町」の実現を目指して、議長を補佐し、議員各位と共に、精一杯努力を致してまいります。どうか皆様方のご指導、ご協力の程をお願いして就任の挨拶といたします。

# 新しい委員会のメンバーです

## 総務常任委員会



委員  
宮本 勝利



委員  
安藤 利光



委員  
石井 和義



委員  
鈴木 義明



副委員長  
松浦 正昭



委員長  
田辺 健次

## 建設経済常任委員会



委員  
野中 邦夫



委員  
造田 節夫



委員  
川崎 泰史



副委員長  
福家 功



委員長  
碓石 眞己

## 厚生常任委員会



委員  
村瀬 秀則



委員  
河野 雅廣



委員  
福家 利智子



副委員長  
横井 薫



委員長  
中西 一幸

## 議会運営委員会

委員長 鈴木 義明

副委員長 田辺 健次

委員 中西 一幸

委員 河野 雅廣

委員 碓石 眞己

委員 野中 邦夫

## 議会広報委員会

委員長 安藤 利光

副委員長 福家利智子

委員 川崎 泰史

委員 福家 功

委員 横井 薫

委員 鈴木 義明

## 土地開発公社理事

理事 造田 節夫

理事 野中 邦夫

理事 石井 和義

理事 安藤 利光

理事 宮本 勝利

## 監査委員

(議会選出)  
村瀬 秀則

## 農業委員

(議会推薦)

松浦 正昭

碓石 眞己

岩岡 幸子

佐藤 裕子

## 教育委員の任命同意

任期 22年5月12日～26年5月11日

杉村 和則 氏 (74歳)

綾川町滝宮553番地6

(再任)



大巻 裕明 氏 (43歳)

綾川町陶5912番地5

(新任)



## 監査委員(識見)の選任同意

任期 22年5月11日～26年5月10日

三好 貴志男 氏 (60歳)

綾川町小野甲640番地

(新任)





# 6月定例会

## 公共施設の 駐車場舗装修繕工事に 600万円



舗装を行う滝宮公民館付近の駐車場

6月定例会は、6月22日開会、25日までの4日間開催して閉会した。

開会初日には、町長から「町道の路線変更」「綾川町職員の育児休業等に関する条例」など3議案と、公共施設の駐車場舗装修繕工事などを含む「21年

度繰越明許費繰越計算書」「綾南プラザ決算」「綾歌南部農業振興公社予算」など報告6件の提案理由の説明があった。

22日の本会議の一般質問（7p～11p）には、9議員が登壇し、「幼児教育について」「保育所

### 600万円

など統廃合問題」「町営バスの運行見直しについて」「綾川町としての将来ビジョン」「情報化社会に向けて、町の対応は」などの問題について、町執行部の考えをたじた。同日提案された議案は、それぞれ関係する委員会に付託し散会した。

23日、24日は、総務常任委員会、厚生常任委員会、建設経済常任委員会（4p～6p）を開催し、付託された議案の審議を行い、各委員会で可決承認した。

最終日の25日には、本会議を再開して、追加された報告1件を含め、各常任委員会に付託された議案審議内容の委員長報告を受け、採決の結果、原案どおり可決承認して閉会した。今議会の傍聴者は延べ17人だった。

## 委員会報告

### 総務委員会

6/23

## デマンドを含めた 総合的な検討を行う

町営バスの枋所線、西分線等について、直接イオンまで乗り入れる便をつくる。一部路線の変更を行い、利用客の利便性の向上を図る。

町営バスの枋所線、西分線等について、直接イオンまで乗り入れる便をつくる。一部路線の変更を行い、利用客の利便性の向上を図る。

今年度中に、諸手続きを済ませ、来年度より改正予定である。

問 デマンド交通システムを検討してはどうか。

答 現在の町営バス運行方式は、旧綾上町の路線型と旧綾南町の巡回型の2つの形態があり、今後、デマンドを含めた全町一体とした路線の見直しを図る必要があるため、今年度実施予定の一部路線の見直しを検討した上で、次年度以降、方向性を示したい。



まんこの町で利用されているデマンド乗合タクシー

今年度中に、諸手続きを済ませ、来年度より改正予定である。

### 光ファイバー網は 23年度末整備完了

本年4月、事業者をNTT西日本に決定した。現在は設計段階で、本年度中には部分的にサービスを開始し、23年度末には全町整備完了する。

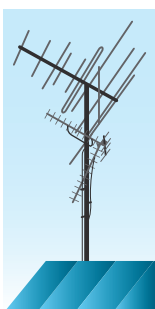
総事業費は、12億円余り、町の補助金を6億円予定している。

問 事業費の12億円余りほどの部分の経費か。

答 各家庭への引き込み線までの設備費等である。

### 共聴施設組合の デジタル対応状況は

町内にある13の施設の内6組合が完了し、残り7組合の内、解散予定・現在協議中の各1組合を除く5組合は、本年度中に改修予定である。



**綾川町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正**

地方公務員の育児、家族介護を行う福祉に関する法律の一部が改正・施行されるのに伴い、3歳未満の子供を養育するために請求した場合、公務に支障がなければ時間外勤務をさせてはならなくなつた。

綾南中学校は、23年度末に実施設計を終え、24年度～26年度の間で改築工事を実施する予定である。

**中学校の改修工事**

綾南中学校は、23年度末に実施設計を終え、24年度～26年度の間で改築工事を実施する予定である。

**職員採用状況は**

来年度、大卒2名、保育士3名程度の募集を行う。

**厚生委員会**

6/23

**昭和北保育所・**

**昭和南保育所の統合は**

学校等再編整備検討委員会の答申の趣旨を尊重し実施する。昭和北・南保育所のどちらかでの拡張も難しく、新規に用地を取得し保育所を建築する。保育所の位置は、昭和小学校付近を検討。保護者等への説明会も開催

事務職で1名程度の身体に障害を持つ者の募集も行いたい。



昭和南保育所・昭和北保育所

**西分保育所の統合は**

23年度に山田保育所へ統合することだが、入所申込みまで、約4カ月しかないが問題はないのか。

当初、22年度に統合する予定もあつたが現在、保育所を通じて保護者への打診を行っている。

**保育所と幼稚園の制度の違いは**

保育所の入所申込み条件があるが、幼稚園との制度の違いをどのように扱うのか。

保育所では、入所に求められているが、3歳児以上の入所については、弾力的な運用を行っている。また、保育料と授業料の問題等についても、制度の研究を行っていく。

綾上地区では既に、小学校は綾上小学校に統合している。保育所の統合となれば吸収される地元関係者はつらい。そのような事情も踏まえて考慮してほしい。

**町全体で、子育てを考へていくことが必要。**

教育委員会と連携を取って町内全体への説明会をお願いしたい。

**夜間の子どもの緊急医療体制は**

現在は香川小児病院になっている。瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定を締結しているが、高松市内での対応は出来ないか。

高松との連携について調査中。陶病院では、小児科以外ではあるが、当院に付いている患者等に対して夜間対応しており、場合によっては、県立中央病院等に紹介している。

**町内の産科医不足問題**

滝宮総合病院の拡張に併せ、産婦人科医の確保を要望している。

**児童扶養手当**

22年8月1日から父子家庭も対象になった。

**旧羽床上小学校南棟の1階部分を小規模多機能型介護施設に改修**

22年度末の完成を予定しており、23年度より綾川町社会福祉協議会により、小規模多機能型介護施設の運営を行う。施設については、無償で貸し付ける。



旧羽床上小学校



町道西ノ浦1号線を延長

町道西ノ浦1号線の終点を延伸し、道路整備中の町道西浦線に接続することになり、利用効果、経済効果が良くなり、地域発展につながるため、終点を変更した。



町道西浦線に接続した町道西ノ浦1号線

ため池改修工事は新池地区ため池改修工

完了。ポンプ場の建設工期が9月24日であり竣工後に水質検査を行い、10月には供用開始の見込みである。

（株）綾南プラザ（道の駅）黒字に転換

事は、工事における地元調整に不測の日数を要し、年度内完了が見込めなくなっていたが、工期は5月31日までで完了した。

林道舗装事業は

林道塩江琴南線舗装事業は、天候不順により年度内完了が見込めなくなっていたが、工期は5月31日までで完了した。

町道舗装修繕事業は

町道舗装修繕事業として地域活性化・きめ細かな臨時交付金を使用し、完了予定は2月末を目途に工事発注をする予定である。

生子系連絡施設の

新設事業

施工状況は、本年3月上旬にポンプ場建設及び送水管布設工事を発注し、現在送水管の布設がほぼ

（有）綾歌南部農業振興公社の報告

決算および事業計画について定時株主総会議案書を基に報告があった。

（株）綾南プラザ（道の駅）黒字に転換

問 綾南プラザ「道の駅」施設の、町からの支出状況は？

答 施設の改修等大規模なものは町で、軽微な修繕は綾南プラザで支出を行うことを基本に実施している。

合併処理浄化槽の改修工事・来場者の安全性を考慮して、木製のテラス等を撤去整備・屋外の防水・内装クロスなどの改修など、今までに約3000万円の支出をしている。



改良予定の町道新開線踏切道

（有）綾歌南部農業振興公社の報告

決算および事業計画について定時株主総会議案書を基に報告があった。

問 施設使用料は減額できないか？

答 設立当初よりJAに拠点をおき事業を展開しており、JAの規定に基づき利用料を支払っている。今後の事業展開によっては施設利用料が検討される。

町道新開線（陶）の踏切道を改良

交通量の多い町道新開線踏切道において、枕木の変更と道路幅員を変更し、住民が安心して通行できるように改良工事をする。

町営住宅滞納家賃等の権利の放棄

場所の調査を行っている。町内では畜産農家が27戸あり、牛の飼養農家が20戸、約900頭、豚の飼養農家が7戸、約1万5500頭を飼育している。

町の取り組みとして、消毒液の配布を検討している。予算は畜産業費で対応する。今後、各市町の取り組み状況を見ながら、対策を講じて行く。

（有）信地区（陶）の一般廃棄物最終処分場

第1処分場は平成10年に埋立てが完了。第2処分場は平成24年完了予定。現在第3処分場を計画している。今後、3処分場の処理水を排水設備により町の公共下水道に流入させる。

排水設備・ポンプ場の施工及び管理・県道府中造田線に埋設する管渠は高松市が施工し、完了後綾川町に下水道管渠として移管される。この事業は本年度より着工予定である。

町営住宅滞納家賃等の権利の放棄

# いっぱん質問

福家 利智子 議員

Q 幼児教育のあり方は

A 心豊かな幼児育成のため、より一層充実させていく

問 幼稚園と保育所は、その制度において教育内容に差異があるが、現在では、保育所での幼児教育を基本に進めている。

幼稚園や保育所は、将来を担う社会の宝である子どもを生み育てる、重要な町としての施策である。町の人口減少に歯止めをかけるうえでも、子育て環境の整備は重要だと思いませんか。

教育長 本町の保育所の保育士は、保育士の資格に加え、幼稚園教諭の免許を持った者が大部分であり、保育所における幼児教育は支障なく運営されている。

心身ともに健全で、心豊かな幼児育成のため、より一層充実させていく。

Q なかよし学級の時間延長を

A 利用者のニーズを見極め、対応

問 なかよし学級の預かり時間が短く子どもの迎えに苦慮している。せめて時間延長があればよいのだが、どのように。

教育長 時間延長については、現状では指導員の確保や、施設での制約などがあり、直ちに実施することは難しい状況だが、利用者のニーズを見極め、適切に対応する。

安藤 利光 議員

Q 中学卒業まで医療費の無料を  
A 24年度からの5カ年計画で  
検討していく

問 中学校卒業までの医療費無料化を求める運動が主流になっている。

県内では善通寺市、三豊市が10月から実施。ま

んのう町は、5年前から「若い人が残ってもらうために」として、行っている。町として必要な施策だが。

町長 まんのう町に続いて、観音寺市、10月から三豊市と善通寺市が実施。質問の主旨はよく理解しており、24年度から行う5カ年計画に向け検討していく。

Q 工事入札談合は  
A 公正な入札を  
指示している

問 4月22日、下水道課が入札を行った。工事名は、綾南第42処理分区町

検討していく

県道本復旧等工事他2件、同じ6業者による指名競争入札の結果、高松市と坂出市の業者が落札者となった。

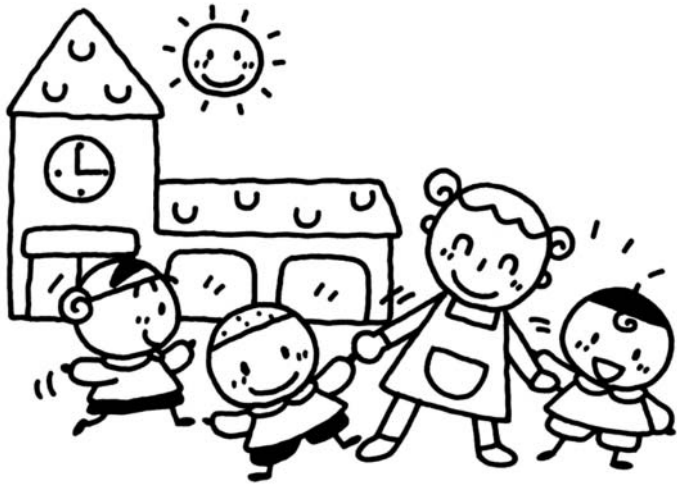
問題は、3件とも第1回の入札金で決定し、落札率が99%を超えている。

談合はなかったのか。町は公正な入札を。

町長 建設工事執行規則により、入札業者の選定を審査し、現場説明でも公正な入札を指示している。

予定価格は、設計書等により決めている。なお、現在工事積算基準は公表しており、積算ソフトを利用すれば、正確な積算ができる。

今後疑問を持たれることがないように執行する。



毎日元気良く登校する児童



### Q シルバー人材の法人化は

### A 民間企業への圧迫に

### 十分配慮する

**問** シルバー人材センターは、自主、自立、共働、共助の理念を基本とし、健康で働く意欲のある高齢者の収入を助けると共に、生きがいをもち、地域社会に貢献する事を目的とした組織である。

**町長** 人材センターの法人化は、22年3月31日設立。綾川町東分所 もみじ温泉内  
法人名 一般社団法人綾川町シルバー人材センター

組織 理事7名 監事1名  
登録会員数 133名  
(男性97名、女性36名)  
本年度予算は、町補助金として500万円を助成する。町、県、国の運営補助金が今後支給される。シルバー人材センターから独自に事業・決算報告を受ける。民間企業への圧迫等の問題も十分配慮する。

① 事業所の住所、新法人名、組織はどのように

② 登録会員は男性何名、女性何名か。

③ 社会福祉協議会との関連はどのように

④ 法人に対して町の補助金は、決算報告はどのように

シルバー人材は社会貢献であり、他産業への民間圧迫が心配される。調和のとれたシルバー人材の活用で町の発展を。



もみじ温泉内にあるシルバー人材センター

### 横井 薫 議員

### Q 昭和公民館の駐車場進入路は

### A 安全対策も併せ検討する

**問** 昭和公民館駐車場において、現在、進入路をふさいでいる障害物を、何故撤去しないのか。

**町長** 安全性のある、進入路を。フェンスを設置している幅9メートルの部分分は、駐車場整備工事に着手する前は、道の法面であり、現在進入路として使用できるのは、幅5.5メートルの部分だけであるが、電柱を移設すれば、最大で14・5メートルの幅員が確保できる見込み。電柱移設の費用、又車輜台数も調査し、電柱の



昭和公民館の駐車場

移設をすることが、結論を出したい。安全対策も併せて検討する。

**Q** 町営バス運行の見直しを

**A** 交通空白地域の減少に努める

**問** 町営バス運行は、交通弱者の方、高齢者の方を優先的に考え、バスの通らない自治会を無くしてはどうか。

**町長** 細かく地域を回る

と時間がかかり利用しにくくなることも考えられ、これらのバランスを取りながら、可能な限り交通空白地域の減少に努め、その利用状況を検討する。今後、先進地における公共交通施策を調査・研究し、最終的により良いバス運行が行えるよう努めたい。また、山間部における路線の見直し、更にイオンへの乗り入れも計画しており、もう少し時間を頂きたい。



Q 高齢者の交通弱者対策は  
A 山間部の路線見直しから検討する

問 町民の通勤、通学、通院、買い物など住民の足として大きく寄与している町営バスだが、高齢社会を迎えている本町にあって、山間部に生活する人々は通院、買い物など非常に困難をきたしているのが現状である。

運行実績をみると実働運行日数296日、5台のバスで2万4000人の乗降客を運び、1日平均1.9人であり費用対効果を考



路線見直しがされる町営バス

えさせられる。そこで打開策として基幹路線は存続し、デマンド交通システムを採用してみてもいいかがか。

町長 デマンド交通システムは巡回バスに替わる新しい交通システムとして注目されている。住民が希望する場所から場所まで、ドアからドアの移動を低額で提供できる新しい公共サービスである。交通弱者に対する生活交通の確保・充実策として、従来の生活交通に対する財政支出の効率化が見込まれる。

現段階では、バスを運行していることから、今回、山間部における路線の見直しを考えており、デマンドについてはバス全体を見直す際に検討する。

Q 町として将来ビジョンは  
A 人口の増加対策など  
さまざまな施策を行う

問 綾川町の将来を考えると、今、学校に通っている児童・生徒はもとより、その子どもの時代まで考える必要がある。次世代の社会で活躍できるように子どもの将来を思いやること・こどもたちに現在の競争社会を生き抜く力をつけさせることが重要だと考える。

綾川町の将来を託す児童・生徒を育成するため、答申の主旨を尊重して計画を進めていく。

将来に向けて、町民の定住化や、人口の増加、地域の振興などを図るために、

公民館における生涯学習講座の開催などのさまざまな施策を実施していく。

特別支援教育の現状と取り組みは学校の実態に応じ対応

特別支援教育の現状と取り組みについて、LD・ADHD児童数は増加傾向にある。

綾川町として特別支援教育の現状と取り組みについてどの様になっているのか。

教育長 綾川町においても、全国の傾向と同様に、LD・ADHD等の特別に支援を要する児童生徒は増加傾向にある。

町としては特別支援教育連携協議会を設立したり、学校の実態に

態に応じて生活支援員や社会福祉士を配置している。また、スクールカウンセラーを派遣し、児童生徒・保護者も含めて対応できるようにしている。

今年度から昭和小学校に「通級指導教室」を設置し、通常学級に在籍する支援の必要な児童にも、個別の指導や支援ができる体制づくりを進めている。

特別支援教育について正しいご理解・ご支援を賜りたい。

問 少子化傾向の中  
A 自閉症・LD・ADHD児童数は増加傾向にある。

綾川町として特別支援教育の現状と取り組みについてどの様になっているのか。

教育長 綾川町においても、全国の傾向と同様に、LD・ADHD等の特別に支援を要する児童生徒は増加傾向にある。

町としては特別支援教育連携協議会を設立したり、学校の実



南原児童館での水遊び

Q 町立学校等再編計画の

進捗状況は

A 今後も、機会をとらえて

ご理解頂くよう努力する

問 昨年11月30日に綾川

町立学校等再編整備検討委員会より藤井町長へ答申書が手渡され、広報「あやがわ」1月号において町内の各関係する町民の皆様方に一石が投げ込まれた。

あれから半年もたった現在において説明会も無い。今後の計画は。

教育長 1月に綾川町PTA連絡協議会のすべての役員に答申内容の説明と、ご協力をお願いしました。また、様々な機会を利用して地区住民へ周知し、ご意見を伺ってきました。今後も、機会をとらえてご理解頂くよう努力する。

Q 民間資金活用事業方式の取り組みは

A さらに、調査研究していく

問 現在、各公共団体などが新たに取り入れている「PFI事業」新しい次

代へ向けての社会資本整備もその時、時代にあった整備を行い、質の高い公共サービスを提供することが行政に課せられた政策課題と

思う。民間事業者の活力と自主性・創意工夫を尊重したこ



再編整備が検討されている羽床小学校

構造改革的な取り組みが必要と思われる。

本町としての今後の取り組みは。

町長 国では、民間の資金・経営能力及び技術能力等を活用して、公共施設の建設・維持管理・運営等を行うために、「基本方針」が示された。

今後、PFI事業については、十分な調査が必要と思われるので、さらに調査研究していく。

松浦 正昭 議員

Q 医療機関の経営統合は

A 効率的な方向で検討

問 町には陶病院と診療所の2つの医療機関が並

存しているが、経営面では「病院会計」と「特別会計」に分かれている。陶病院診療所ともに地域住民の医療と健康を守る点から大きな役割を果たしており、これからも町民の大切な医療機関であることに変わりはない。

合併してからすでに4年が経過、同じ町内に異なる会計の医療機関が並存することは、現下の厳しい情勢を考えると再考することが必要ではないか。「綾川町行政改革大綱」で

は両施設の経営面の統合も含んだ検討を行うとあるが、今後の計画とビジョンは。

町長 陶病院、診療所はそれぞれの施設で地域医療を担っており、経営面においては、医師を含めた医療スタッフの努力により黒字経営を堅持、順調な経営をしており、医師の代

同研修会の開催などをして連携強化を図っている。医療をめぐる環境は厳しく、その変化に対応するには、自立性と経営の活性化・健全化・効率化などが強く求められている。両施設のあり方については、地域性、利便性、収益性に配慮し、住民に対する医療サービスの低下を招かない効率的な方向で、経営面の統合も含めながら検討していく。



陶病院



Q 学校等の統廃合は

A 答申案に従う

問 多人数教育をとった答申案についての説明と、幼保一元化に対する教育委員会の対応は？

教育長 学校の小規模化により地域コミュニティ

の構築や教員の目が個々の児童・生徒に届きやすいことが考えられる。一方、児童・生徒の切磋琢磨の機会減少。部活動において選択種目の減少などが考えられる。

教職員配置も難しくなり、非常勤講師での対応になる可能性が高くなる。学級定数の見直し計画があるといわれているので、県の動向を見ながら少人数指導をする。

幼保一元化について、保育所にて幼稚園の運営方針・計画と変わらない指導を進めると共に子育て支援を推進する。



山田保育所のこどもたち

Q 情報化社会に向けた綾川町の対応

A 費用対効果を念頭に活用

問 光ファイバーが23年度に町全域で整備されるが、どのような対応を？

町長 町への申請書等のダウンロード、自然災害監視、医療ネットワークへの接続、教育サービスへの質向上など多様なサービスが可能になる。

費用対効果を念頭に住民サービス向上のため、一層努力していく考えである。

ほかにこんな質問がありました。

農業を守り、自給率の向上を

問 農業は、再生産ができる農家収入を保証する価格補償・所得補償で米1俵1万8000円と、関税など国境措置の維持強化をするよう、国に對して要望を。

答 戸別所得補償制度は、23年度の本格実施に向けたモデル対策で、当然地域の実情などを反映した制度として構築が必要である。施策の推進は、農協・農家・消費者などの役割分担のもと計画的に行うよう要望する。



農業に従事する地域住民

安心・安全のまちづくりの観点からの消防・防災について

問 火災は、生命と財産を奪う危険性をはらんでおり、それだけに未然に防ぐ防止策とともに、火災が発生した場合の初期対応が重要。消火栓の水圧は確保されているのか。

答 消火栓の水圧は、十分な水圧を確保している。年2回、綾川分署が消火栓点検をしている。住宅密集地の度合い、道路の状況を考慮し火災防御の観点から毎年3基を目安に設置。



消火栓

問 保育は福祉問題

答 保育所など、統廃合の対象とされている地域からは反対意見が出ている。どれも地域の施設として、どんなに大切かという保護者の願いがつまっている。保育所などの問題は、経費削減の行革の対象から外して、純粋に福祉問題として協議することだと思ふが。

問 国庫補助金の増額を

答 現行制度における国庫補助金の引き上げとともに、市町村国保を支援するよう要望する。

問 国保の国庫補助金の引き上げこそが国保会計の健全化になるが、町は国に要望を。

答 現行制度における国庫補助金の引き上げとともに、市町村国保を支援するよう要望する。

